

I はじめに

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、東京都においても7月には1日の感染者数が4万人を超えるなど猛威を振るったが、企業に雇用される障害者の人数は伸びを見せ、令和4年6月1日時点の東京労働局集計に見る都内民間企業の障害者雇用総数は22万8千人を超え、実雇用率は前年比0.05ポイント増の2.14%を記録した。また、障害者の新規就職件数は、令和4年6月24日発表の同局集計によると、令和3年度の実績であるが6,081件で、対前年度比プラス8.1%となり2年ぶりの増加となった。

当事業団にあって令和4年度は現行事業推進プランの4年目にあたり改定の時期も近いことから、目標達成に向けて計画事業を着実に実施するとともに、次期事業推進プラン策定の基礎となるデータの収集・整理を進めた。事業運営に関しては、依然新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない中ではあったが、引き続き施設内の密を避け、消毒の徹底やアクリル板の設置等により利用者と職員の安全を確保することに努めながら、可能な限り平常時に近い形で各種事業を実施した。また、オンラインを活用し、リモートによる企業面接や職場訪問を積極的に行うとともに、各種セミナーを実施した。さらに、利用者の障害特性やニーズに応じた個別支援計画の作成・更新、職員参加によるOJT研修などの企画や支援困難ケースへの対応などを通して就労支援力の向上に努めた。特に近年、重度障害のある者や就労困難の障害者が増えている傾向にあることから、事業推進プランの改定も見据え、自立訓練事業をテーマに職員による自主的な研修を複数回実施した。

令和4年度を数値で振り返ると、新規の利用登録者が87人と前年度比で15人増加した。新規の就職者は、区から受託している「区市町村障害者就労支援事業」での就職者と都指定事業である「就労移行支援事業」からの就職者を合わせて41人と前年度比で10人増加した。

次に、相談支援の総数9,588件のうち、就職後の相談が74.0%を占め、新規の利用登録者で見ると、就職内定時や就職後に職場定着支援を希望する件数が67.8%であった。これは、ここ数年、増加傾向にある。

また、障害者総合支援法に基づく「就労移行支援事業」の年間の実利用者数は23人で前年度より4人増加し、同事業からの新規就職者数は6人と前年度と変わらず、就職率は75.0%、定着率(12ヶ月)については100%であった。

さらに、障害別に新規登録者や新規就職者、離職者の数値をみると精神障害者の占める割合は依然として高い。新規登録者の51.7%、新規就職者の75.6%、離職者の55.3%が精神障害者であった。

その他の取組として、就労中の利用者に向けた各種余暇支援事業の実施、区内企業に対する職場開拓の一環としてアンケート調査の結果分析、区内関係機関と連携した障害者雇用支援ネットワーク会議の運営等がある。

II 事業の概要

1 事業の構成

定款第4条に定める事業		実施事業 (公益目的事業 ※1)
第1号	就労支援及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援	主として(※2) 区市町村障害者就労支援事業 【受託事業】
第2号	事業主に対する雇用管理上の相談助言	
第3号	関係情報の提供及び普及啓発	
第4号	地域における人材育成等、障害者就労支援の体制基盤づくりに関する支援	
第5号	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	就労移行支援事業 (就労定着支援事業を含む。) 【訓練事業】

※1 平成25年4月1日より東京都から公益法人認定を受けて公益目的事業として実施している。

※2 訓練事業においても、必要に応じて又は受託事業と連携して、第1号～第4号に相当する業務を実施している。

2 実施事業

(1) 区市町村障害者就労支援事業【受託事業】

東京都の補助事業「区市町村障害者就労支援事業」の実施のために杉並区が定める「杉並区障害者就労支援センター事業実施要綱」に基づいて、区からの事業委託を受けて実施している。

《業務内容》

- ① 利用登録
- ② 就労面の支援
- ③ 生活面の支援
- ④ 地域開拓促進に係る支援
- ⑤ 職業能力、適性の評価
- ⑥ 特別支援学校等との連携
- ⑦ 地域の福祉施設等における一般就労への支援

(2) 就労移行支援事業【訓練事業】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業で、東京都から事業者指定を受け、実施している。当事業は、利用実績に応じて給付される訓練等給付金を主たる財源として独立採算の視点を持って運営している。

サービスの種類	指定年月日	設置者	事業所名
就労移行支援事業	平成 24 年 4 月 1 日	公益財団法人 杉並区障害者雇用 支援事業団	杉並区障害者 雇用支援センター
就労定着支援事業	平成 30 年 10 月 1 日		

3 推進プラン

事業団の5か年の事業計画として、「ワークサポート杉並・事業推進プラン 2019～2023年度」を平成30年度に策定した。推進プランは、障害者雇用の情勢や区の計画との整合を図りつつ、前「推進プラン」を改定したもので、プラン期間中の事業の方向性と各事業項目（新規11項目、継続・拡充10項目、合計21事業項目）の年次プランを示し、2023年度（令和5年度）までの達成指標と数値目標を掲げている。

- ・推進プラン事業体系表（p.17 参照）
- ・推進プランの達成指標（p.18 参照）

4 事業団の職員構成

(単位：人)

	受託事業	訓練事業	法人管理	合計
事務局長 (常務理事兼任)			1	1
常勤職員	4	2		6
嘱託員	6	3	1	10
パートタイマー	2	3		5
区派遣職員			2	2
合計	12	8	4	24

※人数は事業年度における定数

Ⅲ 事業実績

1 障害者に対する就労支援及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援

(第1号事業)

(1) 就労相談

① 相談・支援

就職を希望する者や転職を考えている者及び就労中の者に対して、就労に関する情報を提供し、日常生活面を含めた職業生活を安定して送るための相談業務を実施した。一方で、就労準備の前段階として福祉施設等の利用が望ましい方には施設情報などを利用者のニーズに応じて提供した。

相談・支援件数は前年度より全体で1,593件、14.2%減少し、相談方法別で見ると、電話等の相談は1,731件、21.7%減少、来所は60件、4.4%減少しているが、訪問等の支援は198件、10.7%増加している。

※()は前年度実績、以下同じ

◆相談・支援件数 9,588件 (11,181件) 【事業推進プラン指標】

方法別内訳	電話等	6,239件	(7,970件)
	うちオンライン	162件	(205件)
	来所	1,299件	(1,359件)
対象者別内訳	訪問等	2,050件	(1,852件)
	利用者・家族	7,585件	(9,029件)
	企業・事業所	2,002件	(2,152件)
就職時期別内訳	就職前	2,491件	(2,659件)
	就職後	7,097件	(8,522件)

② 相談時間帯の拡大 【事業推進プランI①】

定着支援の利用者増加に対応するため相談時間を週2回、19時まで延長して相談体制の充実を図った。

◆平日夜間相談 合計 96回 延べ 308件 (267件)
平均 3.2件/回(2.7件/回)

③ 求人情報検索サービスの提供 【事業推進プランI②】

現在ハローワークが提供しているインターネットサービスを積極的に活用して、自宅にいても求人情報検索が容易にできることを電話相談や面談において広く周知している。

さらに、ハローワークから非公開求人に関する情報提供があるごとに、杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議に参加している福祉施設等へ随時送信している。

(2) 利用者に対する就労・生活支援

在宅や福祉施設に在籍する就労希望の障害者、就業しているが定着支援あるいは転職を希望する障害者などを対象に、就労面及び生活面にわたる支援をハローワークや企業、各支援機関、保健センター等と連携して実施した。

① 就職準備・就職活動支援

利用登録を経て、就労準備の理解や求職者登録、求人検索、体験実習の実施、委託訓練の申込み、応募書類作成の助言、面接同行、雇用契約等にかかる就職までの一連の支援を関係機関等と連携しながら実施した。

- ・新規登録者は前年度より15名増加し、事業団の支援による新規就職者は前年度より10名増加し41名となった。
- ・年度末累計登録者数は対前年度比5.0%増となった。そのうち就労者の占める割合は55.5%となっている。

登録者数

◆新規登録者	87人 (72人)	【事業推進プラン指標】
◆登録抹消者	△23人 (△24人)	
◆年度末の累計登録者	1,344人 (1,280人)	

新規登録者の利用に至る経路別内訳

ハローワーク	14人 (10人)
障害者職業センター	5人 (4人)
特別支援学校	15人 (19人)
福祉サービス事業所	23人 (13人)
福祉事務所等行政	8人 (6人)
直接利用	16人 (9人)
その他(医療機関等)	6人 (11人)

就職者数

◆新規就職者数※	41人 (31人)	【事業推進プラン指標】
(※事業団支援による就職者数)		
◆年度末の就職者数	746人 (708人)	

新規就職者の事業別内訳

受託事業就職者数	35人 (25人)
訓練事業就職者数	6人 (6人)

② 生活面の支援

- ・福祉事務所や保健センター、障害者地域相談支援センター等との連携による生活面の支援を就労面の支援と一体的に行った。

- ・生活スキル向上プログラム 【事業推進プランⅡ⑤】（再掲 p.14）

障害者雇用支援センターの独自事業として、就労生活に必要なスキルの向上のため、週2日通所によるプログラムを実施した結果、実利用者5名中、1名の利用者が企業に就職した。他の利用者も就労移行支援事業所などその人の状況に合ったサービスにつなげることができた。

- ・虐待相談事案 3件

◆生活相談件数 5,677件（7,310件）

内容別内訳	日常生活相談	3,110件	(3,832件)
	職業生活相談	2,389件	(3,285件)
	社会生活相談	156件	(161件)
	自己決定相談	22件	(32件)

③ 職場定着支援

- ・就労中の障害者や家族、企業に対して電話やメールでの相談、オンライン、面談、職場訪問による支援を実施して、安定した就労継続を図った。

職場定着率等

◆定着支援対象者 746人（708人）※p.5①の「年度末の就労者数」に同じ

事業別内訳	受託事業	738人	(694人)
	訓練事業	8人	(14人)

新規登録者のうち定着支援からの利用者 59人（46人）
（※就職時または就職後からのサービス利用者）

◆定着支援件数 5,947件（7,185件）

方法別内訳	電話等	4,493件	(5,943件)
	うちオンライン	146件	(189件)
	来所	770件	(856件)
	訪問等	1,688件	(1,534件)

◆職場定着率（12ヶ月※1） 77.4%（85.2%）【事業推進プラン指標】

※1 前年度就職者のうち就職後12ヶ月経過時の就労継続者の率

◆職場定着率（24ヶ月※2） 68.5%（76.5%）

※2 前々年度就職者のうち就職後24ヶ月経過時の就労継続者の率

◆職場定着率（36ヶ月※3） 67.9%（49.2%）

※3 前々々年度就職者のうち就職後36ヶ月経過時の就労継続者の率

④ 余暇支援

・ワクサポ広場（定期）

就職後の不安や悩みの解消、ビジネスマナーの再学習、働く障害者の余暇の充実を目的とした余暇支援事業である「ワクサポ広場」を、就労継続中の障害者を対象に月2回（原則として第1・3金曜日オフタイム）、会場が密にならないよう、2グループに分け、開催時間も短縮して、中止することなく全24回開催することができた。

◇ ワクサポ広場 387人 [24回] (288人)

・交流会（不定期）

就労継続中の知的障害者、精神・発達障害者、発達障害者本人と家族を対象にした「交流会」をそれぞれ実施した。

◇ 知的障害者向け交流会 106人 [2回] (95人)

◇ 精神・発達障害者向け交流会 42人 [2回] (33人)

◇ 発達障害者本人・家族向け交流会 16人 [1回] (10人)

・パソコン講習会

事業団の利用登録者でパソコンのスキル向上を目指す者に対して、パソコン講習会を実施した。

◇ パソコン講習会 31人 [6回] (33人)

◆ 余暇支援合計参加者数 582人 [35回] (459人)

⑤ 就職準備フェアの開催（新宿区勤労者・仕事支援センター、中野区障害者福祉事業団との共同事業）

- ・就職準備講座や就労者及び企業担当者からの講話を聴く機会の代替として、「就職準備フェア番外編～就職活動における“あるある質問・要望”にお答えします～」のYouTube動画を作成して、令和5年3月、杉並区内の福祉施設等に配信した。

(3) 職場体験機会の提供

① 職場体験実習

区内の福祉施設利用者や在宅者等で就職を希望する障害者が仕事への自信を持ち、就職への意欲を高められるように、開拓した企業や区役所等での職場体験実習を区の体験実習要綱に基づいて実施した。

・企業見学会と企業等体験実習の充実

支援者を対象に、企業見学会を1回実施した。また、企業就労の経験がない就労継続支援B型事業所の利用者等が体験実習を行った。

◆職場体験実習 23人 (28人)
職場体験実習(杉並区内事業所)一覧・・・支援実績別表1(p.18)

- ② 特別支援学校等からの実習の受け入れ
・就労移行支援事業では、特別支援学校等からの希望により実習生を受け入れ、実習を通して職業能力・適性の把握、職業意識・就労意欲の向上を図った。

◆特別支援学校等実習受入 10人 (11人)
特別支援学校等生徒の実習・体験学習(事業団受入)一覧
・・・支援実績別表2(p.19)

(4) 職業適性の評価・アセスメント

- ① 職業評価
・支援機関及び相談者本人から依頼を受け、本人の職業適性や就労準備性の状況を把握し、支援計画を作成・実施するために、事業団において職業評価を行った。
・評価結果についての振り返りを行うことで利用者自身の就労活動に活用した。

◆職業評価 3人 (7人)

◆一般職業適性検査 0人 (2人)

- ② 就労アセスメント
・障害者雇用支援センターでは、区の依頼により特別支援学校在校生等を対象とする「就労系福祉サービスの利用に係る職業評価」(通称、就労アセスメント)を実施した。

◆就労アセスメント 2人 (3人)

- ③ アセスメントシート等の開発 【事業推進プランI②】
・パソコンの操作入力作業に自信のない利用者を対象とした基本的パソコンスキルをアセスメントして利用者自身の就労活動に活用するために、パソコンスキルチェックのツールを検討の上、実施した。

◆パソコンスキルチェック 1人 (2人)

2 事業主に対する雇用管理に関する事項についての相談助言等の支援

(第2号事業)

(1) 情報の提供

① 企業向けパンフレット等の配付

- ・新規の企業開拓及び企業実習の開拓、地域の事業主等関係機関への啓発活動を目的に、企業向けパンフレット等を随時配付し、障害特性や障害者雇用等の理解を得るための資料とした。

② 個別企業相談

- ・障害者を雇用している、または雇用する意向のある事業主に対して、障害者の雇用・職場定着に関する助言や仕事の切り出し、雇用職場の環境整備、その他の助言・援助を行った。

◆相談件数 第1号事業(1)に記載

◆訪問社数 第3号事業(4)に記載

(2) 企業向けセミナー等の開催

障害者雇用への理解を深めることを目的に主に事業主や人事担当者等に向けて、セミナーを開催し、障害者雇用の促進と就業障害者の職場定着を図った。

◆企業向けセミナー 1回開催・・・支援実績別表3-4(p.20)

3 障害者就労に関する情報の収集提供及び普及啓発(第3号事業)

(1) 広報活動

① 「ワークサポート杉並だより」

事業団の活動状況等を紹介する広報誌「ワークサポート杉並だより」を発行し、タイムリーな情報の提供に努めた。

◆発行部数 1,300部/回 年4回発行

② 事業団ホームページ

- ・障害者と企業担当者等に向けて、事業団の活動内容、活動状況を紹介した。
- ・各種セミナーや就職相談会の紹介等、イベント情報を提供した。
- ・「就職者のブログ」コーナーを設け、また広報誌「ワークサポート杉並だより」アーカイブページを提供した。
- ・事業団の情報開示として、事業計画書・収支予算書、事業報告書・決算書等の資料を掲出した。

③ その他普及啓発

・「杉並区障害者週間事業」のイベントに参加し、事業団活動や障害者の雇用促進について普及啓発を行った。

◆地域イベント参加一覧 . . . [支援実績別表 4 \(p.21\)](#)

④ 職員の講師派遣

関係機関等で実施されるセミナーの講師として職員を派遣し、事業団事業の説明や都・区内の障害者雇用の現状、職業準備性の向上などの雇用支援に係る情報を提供した。

(2) 区民、障害者、家族、支援者向けセミナー等の開催

障害者やその家族、就労継続支援B型事業所や相談支援事業所などの関係職員、企業の社員等が障害者の一般就労について考える機会を提供し、障害者雇用に係る普及啓発を行った。また、事業団の活動内容を紹介した。

・若年層を対象としたコミュニケーション講座 【事業推進プランⅡ②】

杉並区就労支援センター(すぎ JOB)と共催で日頃から対人コミュニケーションに自信のない利用者を対象に自己分析や自己PRの作成などを行った。

◆セミナー等開催一覧 . . . [支援実績別表 3-1～3、5 \(p.19、20\)](#)

(3) 就労情報の収集

ハローワークや民間の就職支援事業所から就労情報の収集を行うとともに、同所の提供する求人情報をオンラインでリアルタイムに受ける環境を整備〔第1号事業に記載〕した。新宿公共職業安定所、中野区障害者福祉事業団、新宿区勤労者・仕事支援センター、中野特別支援学校等と情報交換を行い、就職と実習の受入を希望する企業情報を収集した。

また、広域の就労支援機関連絡会等に積極的に参加し、意見交換や就労等の情報の収集を行った。

(4) 障害者就労に関する調査・研究

① 職場開拓の調査・研究

担当制による開拓作業を実施したほか、職場訪問の情報を月に2回開催している職員ミーティングで報告し、開拓方法等を検討した。

- ・希望する6施設にハローワーク等の求人情報などを計328回、提供した。

② 特別支援学校

- ・特別支援学校の在学中に実施される企業実習の期間において、職場訪問等に事業団職員が同行して連携を強化した。
- ・事業団職員が特別支援学校を訪問して、在校生の障害特性や進路希望先を確認し、在校時からの連携強化に努めた。

③ 杉並区就労支援センター（すぎJOB・すぎトレ）等

- ・杉並区就労支援センター（すぎJOB・すぎトレ）等を定期的に訪問し、事業説明を行うなど事業団の周知と新たな利用者の確保に努めた。

◆施設等訪問	延べ	38件	(39件)
◆特別支援学校への協力	延べ	13件	(13件)
◆杉並区就労支援センター説明会	延べ	2回	(2回)

(2) 区内関係機関等ネットワークを活用した支援

① 雇用支援ネットワーク会議の開催

- ・障害者の就職及び職場定着のための支援を地域で効果的に行うため、区内の作業所、障害者地域相談支援センター、ハローワーク、特別支援学校等に所属する職員で構成された実務担当者による雇用支援ネットワーク会議を月例で開催した。
- ・障害者の就職活動の支援に必要な着眼点や技法を学ぶために、事例検討・企業担当者による講話・研修等を実施し、地域の支援力のスキルアップに努めた。

◆実務担当者会12回（企業見学会1回分を含む）

雇用支援ネットワーク会議開催一覧・・・支援実績別表5(p.21)

② 地域の相談支援機関との連携の強化 【事業推進プランⅢ⑤】

- ・具体的なケースを通じて、障害者地域相談支援センター及び特定相談支援事業所と積極的に情報や課題の共有、連携を図った。
- ・困難ケースに関して障害者地域相談支援センター、基幹相談支援センター、保健センター等の各関係機関と関係者会議を行い、役割分担をしながら支援を行った。

③ 医療機関等との連携の強化 【事業推進プランⅢ⑥】

- ・杉並区地域生活支援担当が主催する「高次脳機能障害者関係機関連絡会」及び「同セミナー」に随時参加するなど、定期的に連携を図った。
- ・医療機関連携スキル向上研修に参加し、ロールプレイやディスカッションなどの講義を通じて、連携方法について実践的に学んだ。

④ 支援困難ケースへの対応力の強化 【事業推進プランⅢ⑧】

- ・使用者及び養護者による虐待疑いのあるケース（3件）、希死念慮（1件）、職場での粗暴な言動（1件）、勤務外での素行不良に伴う補導（1件）に関して、区担当部署への連絡・相談や医療機関、生活相談支援機関との連携を行い、対応した。
- ・事業団内部にケースごとの検討チームを設けて、職場定着支援業務の中で支援困難ケースの対応にあたった。さらに、弁護士を講師に招いて職員臨時研修の実施や事業団職員全体でケース共有を行い、支援力の底上げに努めた。

（3）研修会への参加及び実施

① 支援員研修・OJT研修（事業団主催）

- ・事業団や区内作業所等における就労支援機能強化と支援担当職員のレベルアップを目的に、雇用支援ネットワーク会議における地域の支援者向けセミナー等を通じて他の障害者就労支援機関等や障害者雇用を進めている企業の取り組み事例などを学んだ。

◆参加者 延べ 133人

② 支援員研修（他機関主催）

- ・効果的効率的な就労支援を行うため、東京障害者職業センター等が実施する職業リハビリテーションに係る情報の提供及び相談、ネットワークの技法、その他障害の特性の理解とその援助の方法についての専門的研修に職員を参加させた。
- ・その他、関係機関・団体の主催する研修等に職員を参加させ、障害の特性や権利擁護、障害者虐待防止、福祉・労働関係法制度等に関する知識の習得を行った。

◆参加職員 延べ 50人

5 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業（第5号事業）

事業所 杉並区障害者雇用支援センター

（1）就労移行支援事業の実施【訓練事業】

① 利用対象者の安定的確保

- ・区内の福祉施設、福祉事務所、特別支援学校、保健センター、中部総合精神保健福祉センター、区主管の障害者通所施設入所調整会議等との情報交換を通じて、企業等での一般就労の意向がある障害者で、職業準備性の訓練を必要とする就労移行支援事業利用対象者の把握に努めた。また、見学や実習の受け入れ等により利用者の安定的確保に努めた。
- ・利用定員は20名で、杉並区等から当該サービスの支給決定を受けた方を利用対象者とした。

② 訓練プログラムの実施

- 一般就労希望の障害者が、就労に必要な知識・能力と働くことへの意欲の向上を図るため、また就職後は安定した職業生活を送ることができる訓練プログラムを実施した。
- 障害者の特性と一般企業が求める障害者雇用での業務内容とをマッチングさせるために必要な訓練プログラムを開発し、障害者雇用で求めるビジネスマナー研修、コミュニケーショントレーニング、パソコン訓練、区内企業・事業所での清掃及び接客訓練等のプログラムを導入することで、より多様で実践的な職業準備訓練を実施した。
- 各障害に合わせてプログラム内容を設定し、特別支援学校教員経験者による就職準備プログラムの導入や、メンタル系に障害のある方に対してプログラム開始時における個別面談等、より利用者の状況に合わせた内容を提供し、利用者層の拡大に繋がった。さらに、利用者の特性、就職に向けた能力等の評価を3カ月ごとに行うとともに、利用者の適性を踏まえた職場開拓に力を注いだ。
- 生活スキル向上プログラム【事業推進プランⅡ⑤】（再掲 p.5）

障害者雇用支援センターの独自事業として、就労生活に必要なスキルの向上のため、週2日通所によるプログラムを実施した結果、実利用者5名中、1名の利用者が企業に就職した。他の利用者も就労移行支援事業所等その人の状況に合ったサービスにつなげることができた。
- 就職者によるピアサポートの実施【事業推進プランⅡ③】

障害者雇用支援センターを利用して現在就職している元訓練生1名に現在訓練中の利用者に対して就労までの具体的な体験や就労後の職場での経験を話してもらい、現在訓練中の利用者の就労準備に対するモチベーションを高めることができた。
- 発達障害者支援プログラム

障害者雇用支援センターの利用者の社会性の向上を図るためにビジネスマナー等を学習できる「仕事プログラム」を導入して、支援員がナビゲーターとなり、毎週実施した。
- 区内就労移行支援事業所情報連絡会の実施

支援員のスキル向上、福祉サービスの向上を地域全体で目指すため、区内の就労移行支援事業所（計7所）での情報連絡会を6回実施した。

③ 第三者評価

- ・サービス向上と利用希望者の事業所選択に資するため、3年ごとに福祉サービス第三者評価を受審している。前年度に受審を行っており、これまでの評価結果は事業団ホームページから閲覧できるよう提供している。

◆訓練事業からの就職状況

(ア) 就労移行支援事業 当該年度就職者状況 (単位：人)

	知的障害	精神障害	発達障害	合計
就職者数	4	1	1	6

(イ) 利用者（契約者）数、就職者数 [利用定員20人] (単位：人)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	28	23	21	17	19	23
就職者数	10	10	10	5	6	6

(ウ) 就職率、定着率（12ヶ月経過） (単位：％)

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
就職率※1 【推進P指標】	76.9	76.9	90.9	57.1	66.7	75.0
定着率※2	83.3	90.0	80.0	90.0	80.0	100

※1 当該年度中に就労移行支援事業の利用を終了した者のうち就職した者の割合

※2 前年度の就職者のうち、就職から12ヶ月経過時点で就労を継続している者の割合

(2) 就労定着支援事業【訓練事業】 【事業推進プランI③】

就労移行支援事業所等から就職し、就職後6ヶ月を経過した者で、行政から当該サービスの支給決定を受けた方を対象に、最長で3年間、原則月1回以上の職場訪問による面談等を行い、就労及び生活上の課題について企業、家族、関係機関との連携・調整を行うことにより、就労の安定的な継続を図っている。平成30年10月より事業を開始している。

(ア) 就労定着支援事業 当該年度利用者状況 (単位：人)

	知的障害	精神障害	発達障害	合計
利用者数	6	1	1	8

(イ) 利用者（契約者）数 (単位：人)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	13	18	14	14	8

6 事業推進プラン 「ワークサポート杉並・事業推進プラン 2019～2023」

(定款第4条

(1) 事業推進プラン 事業体系表

の該当号数)

I 相談から 切れ目のない 支援 まで	相談環境の整備と 相談機能の充実	① 相談時間帯の拡大 【新規】	1号
		② 求人情報検索やアセスメントシート等を活用した相談の充実 【新規】	1号
	安定して働き続け られるための支援	③ 就労定着支援事業の充実 【新規】	5号
		④ 就職している知的障害者及び精神・発達障害者の 余暇活動支援の充実	1号
		⑤ 本人・家族向けセミナーの充実と家族交流会の実施	3号
	多様な働き方の できる職場の開拓	⑥ 区内企業の職場開拓	3号
		⑦ 短時間就労に向けた取り組みの強化	3号
II 働くための 向上を支援 の能力の	発達障害者に 対する支援の強化	① 発達障害者支援プログラムの実施	5号
		② 若年層を対象としたコミュニケーション講座の実施 【新規】	3号
	就労移行支援事業 の充実	③ 就職者によるピアサポートの実施 【新規】	5号
		④ 施設外活動の利用による訓練プログラムの実施 【新規】	5号
	働くために必要な 生活力の向上	⑤ 生活スキル向上プログラムの実施 【新規】	1号
		⑥ 本人・家族向けセミナーの充実と家族交流会の実施 【I⑤の再掲】	3号
III 関係機関等との 連携に よる支援力の 強化	区内福祉施設への 支援・連携の促進	① 施設指導員の就労支援活動をサポート	4号
		② 企業見学会と企業等体験実習の充実	1号
	特別支援学校との 連携の強化	③ 就職する特別支援学校生徒に対する職場定着支援の 充実	4号
		④ 特別支援学校の生徒・保護者に対する支援の充実	4号
	関係機関との 連携の強化	⑤ 地域における相談支援機関との連携の強化 【新規】	4号
		⑥ 医療機関等との連携の強化 【新規】	4号
		⑦ ネットワーク機能を活用した支援体制づくり	4号
		⑧ 支援困難ケースへの対応力の向上	4号

(2) 事業推進プラン 達成指標 (数値目標)

	R2 年度実績	R3 年度実績	R4 年度実績	R5 年度目標 (事業推進 プラン)
①就職者数 ※1	54 人	31 人	41 人	90 人
②職場定着率 ※2	87.7%	85.2%	77.4%	85%
③新規登録者数	99 人	72 人	87 人	100 人
④相談件数 ※3	10,485 件	11,181 件	9,588 件	13,000 件
⑤区内企業訪問社数	10 社	6 社	9 社	60 社
⑥就労移行支援事業利用者 就職率 ※4	57.1%	66.7%	75.0%	85%

※1 就職者数

事業団の登録者であって、当該年度中に一般企業等へ就職した人数

※2 職場定着率

事業団の就労定着支援の対象者で、前年度の4月1日～3月31日の間に一般企業等へ就職した者のうち、12ヶ月経過時点で就労を継続している者の割合

※3 相談件数

電話、来所、訪問等で就労相談を受けた延べ件数

※4 就労移行支援事業利用者就職率

当該年度の4月1日～3月31日の間に就労移行支援事業の利用を終了した者のうち、一般企業等へ就職した者の割合

7 支援実績別表

別表1 職場体験実習（杉並区内事業所）

	実習場所	実習内容	実習の時期	実習者数
体験型	杉並区役所	封入、丁合、シール貼り、スタンプ押し、チラシの仕分け等の軽作業	5月(1日間)、 7月(3日間)、 3月(5日間)	3人
	青色申告会	丁合、封入、封緘等の軽作業	7月(5日間) 9月(4日間) 11月(4日間)	3人
	ゆうゆう館	受付、部屋の消毒作業、清掃等	9月(1日間)	1人
	コモン計画研究所	PC入力、事務補助等	10月(1日間)	1人
	JA 東京中央	屋内清掃、野菜の販売、農園での収穫、除草等	7~9月(3日間)、 8月(3日間)	2人
	システムズデザイン	清掃、PC入力等	1月(5日間)	1人
	はちなり苑	食器洗浄、お茶くみ、配膳手伝い等	2月(3日間)	1人
実践型	杉並区役所	封入、丁合、シール貼り、スタンプ押し、チラシの仕分け等の軽作業	8月(3日間)、 9月(5日間)、 2~3月(10日間)	3人
	杉並区社会福祉協議会	宛名シール貼り、会報発送業務の軽作業等	7月(5日間)、 9月(5日間)、 11月(4日間)、 2~3月(5日間)	4人
	コモン計画研究所	PC入力、事務補助等	1月(5日間)	1人
	JA 東京中央	屋内清掃、野菜の販売、農園での収穫、除草等	12月(10日間)	1人
チャレンジ型	杉並区役所	丁合、封入、テーブル拭き、シール貼り、スタンプ押し、リーフレットの仕分け等の軽作業	5~6月(20日間)	1人

別表2 特別支援学校等生徒の実習・体験学習（事業団受入）

学 校	学 年	実習時期	実習者数
阿佐ヶ谷中学校（特別支援学級）	3年生	7月4～8日	2人
永福学園	3年生	9月8～14日	1人
大宮中学校（特別支援学級）	3年生	9月12～16日	1人
東京学芸大学附属特別支援学校	2年生	9月26～30日	1人
宮前中学校（特別支援学級）	3年生	11月4～6日	2人
永福学園（肢体不自由教育部門）	2年生	11月7～11日	1人
東京学芸大学附属特別支援学校	2年生	11月14～25日	1人
中野特別支援学校	3年生	2月13～17日	1人

別表3-1 若年層を対象にしたコミュニケーション講座

実施日	令和4年9月17日（土）
対象者	ワークサポート杉並及び杉並区就労支援センター利用者
場 所	ウェルファーム杉並 セミナー室
テーマ・内容	「自己理解プログラム体験」自己分析、自己PRの作成
講 師	パーソルサンクス(株) サポート本部人事部人財開発室／人材支援室マネージャー
参加者	14人

実施日	令和5年3月14日（火）
対象者	ワークサポート杉並及び杉並区就労支援センター利用者
場 所	ウェルファーム杉並 セミナー室
テーマ・内容	「自己理解プログラム体験」自己分析、自己PRの作成
講 師	(株)エンカレッジ代表取締役
参加者	14人

別表3-2 地域の支援者向けセミナー（雇用支援ネットワーク会議）

実施日	令和4年10月11日（火）
対象者	障害者通所施設職員、相談支援事業所職員、関係職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ・内容	会社概要と障害者雇用の取り組み
講 師	三井不動産リアルティ(株) シニアコンサルタント
参加者	26人

実施日	令和5年1月10日（火）
対象者	障害者通所施設職員、相談支援事業所職員、関係職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ・内容	個別支援計画の立て方
講 師	杉並区障害者生活支援課 就労支援担当係長
参加者	16人

別表 3-3 家族向けセミナー・交流会

実施日	令和4年9月12日(月)
対象者	就労を考えている障害のある方の家族、障害者施設などの関係機関の職員
場 所	杉並区障害者福祉会館 第一、二会議室
テーマ・内容	就労前、就労後の親の役割について
講 師	東京都教育庁指導部 特別支援教育推進室 就労支援員
参加者	18人
実施日	令和5年3月27日(月)
対象者	就労を考えている障害のある方の家族、障害者施設などの関係機関の職員
場 所	杉並区障害者福祉会館 第一、二会議室
テーマ・内容	障害のある子の家族が知っておきたい『親なきあと』～『親あるあいだ』の準備(障害のある人の『親なきあと』～お金の残し方と暮らし方～)
講 師	渡部行政書士事務所「親なきあと」相談室主宰
参加者	17人

別表 3-4 企業向けセミナー

実施日	令和4年11月15日(火)
対象者	事業主、人事担当者、障害者施設等の関係職員
場 所	事業団会議室 Zoomによるリモート配信
テーマ・内容	第一部 講演「東京障害者職業センターによる企業支援について」 第二部 講演「三井不動産株式会社での取り組みについて」
講 師	東京障害者職業センター次長、三井不動産(株)事業主任
参加企業	11社

別表 3-5 ワークサポートセミナー(区民向けセミナー)

実施日	令和5年2月24日(金)
対象者	杉並区内在住の方、企業就労を考えている障害のある方、障害のある方のご家族、障害者施設等の関係職員、人事担当者
場 所	コミュニティ・プラットホーム・あだち
テーマ・内容	第一部 講演「これからの就労支援とは」 第二部 対談「これからの就労支援について」 対談の様子をライブ配信
講 師	特定非営利活動法人 WEL'S 理事長
対談者	特定非営利活動法人 WEL'S 理事長、ソランピュア(株)事業推進部長、 順天堂大学スポーツ健康科学部准教授

別表 4 地域イベント参加一覧

実施日	イベント名	会 場	内 容
—	福祉会館まつり	杉並区障害者福祉会館	(中止)
11月28日～ 12月4日	杉並区障害者週間 事業	杉並区役所	障害者団体・施設紹介映像 (スライド)の投影など
—	地域美化事業	下高井戸八幡神社	(中止)

別表5 雇用支援ネットワーク会議（実務担当者会12回）

令和4年度の実施目標		「支援体制づくりと支援力の強化」	
回数	日程	内容	備考
第1回	4月12日	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介（杉並区障害者雇用支援事業団 常務理事・事務局長挨拶） 令和4年度 実施計画について 令和4年度「ハローワーク求人票」等の送信希望の確認について 各施設・機関の事業実施状況の報告等について 	21名
第2回	5月10日	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶（杉並区保健福祉部障害者生活支援課長） 杉並区障害者地域相談支援センターすまいる高井戸の事業概要の説明について 令和4年度「職場実習事業」等の説明について 	22名
第3回	6月14日	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討①「退職後に再就職をして上手くいったケース～退職・再就職の見極め～」について（どんまい福祉工房） 企業見学会（8月予定）の検討について 	15名
第4回	7月12日	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用対策の現状とハローワークの支援、企業が本人・支援機関等に望むことについて（ハローワーク） 外部講師による研修の検討について 	22名
第5回	8月23日	<ul style="list-style-type: none"> 企業見学会 多くの障害者を雇用し、社内でも障害者雇用の理解を進め、日頃から当事者が働きやすい取り組みを実践している㈱ビームスの企業見学会を支援者向けに実施 	11名
第6回	9月13日	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討②「経済面をはじめとする生活全般に困難さを抱える知的障害者夫婦のケース」について（ワークサポート杉並） 企業見学会（8/23実施）の振り返りについて 外部講師による研修等の検討について 	18名
第7回	10月11日	<ul style="list-style-type: none"> 「会社概要と障害者雇用の取り組み」について（三井不動産リアルティ㈱ シニアコンサルタント）《研修（講話）》 	26名
第8回	11月8日	<ul style="list-style-type: none"> 企業ご担当者からの求人情報のご説明について（4社） 企業交流会 求人情報の説明をした企業ご担当者と支援員との交流、意見交換を実施 	15名
第9回	12月13日	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討③「退職後に再就職をして上手くいったケース（6/14実施）のその後～本人へのインタビュー～」について（どんまい工房） 企業交流会（11/8実施）の振り返りについて 	15名
第10回	1月10日	<ul style="list-style-type: none"> 「個別支援計画の立て方」について（杉並区障害者生活支援課 就労支援担当係長）《研修（演習）》 	16名
第11回	2月14日	<ul style="list-style-type: none"> 「雇用支援ネットワーク会議に期待すること」の報告について（働きかたサポート部会の委員） 「働き方サポート部会の報告を受けた雇用支援ネットワーク会議での取り組み」について 	22名
第12回	3月14日	<ul style="list-style-type: none"> 新規参加団体「くらしのサポートステーション（生活自立支援窓口）」の事業概要の説明について 令和4年度の振り返りについて 令和5年度の取り組みについて 	20名

※ 第5回を除いたすべての回で、近況報告・連絡事項を設けている。

IV 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。

《 参考資料 》

1 利用登録者の状況 令和4年度 (p.5)

① 登録者（全体）の障害別・年代別状況

(単位：人)

		15歳 ～ 17歳	18歳 ～ 20歳	21歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 以上	不明	障害 種別 合計
身体 障害者	視覚障害			1	2	1	4	5		13
	聴覚障害		1		5	2	5	3		16
	平衡機能障害				1					1
	音声・言語・咀嚼機能障害				1	2		1		4
	肢体不自由（1～3級）			2	13	11	7	8		41
	肢体不自由（4～7級）			1	2	2	9	6	1	21
	内部障害 ※1				4	3	5	2		14
	小 計	0	2	4	28	21	30	25	1	110
知的 障害者	愛の手帳1度									0
	2度			3	1					4
	3度		5	26	27	17	7	2		84
	4度		45	161	110	59	51	11		437
	小 計	0	50	190	138	76	58	13	0	525
精神 障害者	障害者手帳1級			1		1	3			5
	2級		1	21	69	76	49	19		235
	3級		4	62	158	106	102	23		455
	小 計	0	5	84	227	183	154	42	0	695
手帳 なし	精神障害 (うつ病・統合失調症など)			1	3	3	2	1		10
	発達障害				1					1
	てんかん									0
	高次脳機能障害									0
	難病患者				1		1	1		3
	その他						0			0
	小 計	0	0	1	5	3	3	2	0	14
合 計		0	56	279	398	283	245	82	1	1,344

※1 内部障害:心臓・腎臓・呼吸器・膀胱・直腸・小腸機能障害等

※2 重複障害者の場合は主な障害で分類している

② 新規登録者の性別・年代別状況

(単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	11	15	13	6	3	0	48
女	5	11	10	8	4	1	39
合計	16	26	23	14	7	1	87

2 就職者の状況 令和4年度 (p.5)

① 就職者の障害別、就業時間別状況

(単位:人)

		一般 (週30時間以上)	短時間 (週20～29時間)	短時間 (週20時間未満)	合計
身体障害者	視覚障害				0
	聴覚障害				0
	平衡機能障害				0
	音声・言語・咀嚼機能障害				0
	肢体不自由(1～3級)				0
	肢体不自由(4～7級)		1		1
	内部障害	1			1
	小計	1	1	0	2
知的障害者	愛の手帳1度				0
	2度				0
	3度	1			1
	4度	7	1		8
	小計	8	1	0	9
精神障害者	障害者手帳1級		1		1
	2級	7	1		8
	3級	16	4	1	21
	小計	23	6	1	30
手帳なし					
	小計	0	0	0	0
合計※		32	8	1	41

重複障害者の場合は主な障害で分類している

※ うち発達障害12人、てんかん1人を含む

② 就職先の業種別内訳 (単位：人)

業 種	人 数	
建設業	0	
製造業	2	
電気・ガス業	0	
情報通信業	3	
運輸業	0	
卸売・小売業	7	
金融・保険業	3	
不動産業	1	
飲食店・宿泊業	1	
医療・福祉	6	
教育・学習支援	2	
その他 サービス業	特例子会社	7
	国都区・障害者採用	7
	都チャレンジ雇用	0
	清掃・保守請負関係	2
	その他	0
合 計	41	

③ 就職先の業務内訳 (単位：人)

業 務	人 数
事務・事務補助	26
清掃	6
軽作業	4
食器洗浄、調理接客・補助	2
介護補助	2
その他	1
合 計	41

④ 就職先の企業規模別内訳 (単位：人)

企業規模	人 数
大企業	27
中小企業※	14
合 計	41

※ 中小企業とは、
従業員300人以下の事業者

3 離職者の状況 令和4年度

① 離職者の障害別・就労期間別状況 (単位：人)

	6ヶ月未満 ※1	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上	合 計
身体障害者	0	1	1	1	0	3
知的障害者	1	2	2	2	7	14
精神障害者	2	2	9	2	6	21
手帳なし等	0	0	0	0	0	0
合 計※2	3	5	12	5	13	38

※1 半年勤務で終了は6ヶ月未満とカウント

※2 うち発達障害7人、てんかん2人を含む

② 離職者の障害別・離職理由別状況（注：合計の上位の離職理由から順に記載）（単位：人）

	① 障害・ 病気	② キャリア アップ	③ 労働条件 が 合わない	④ 業務遂行 上の課題	⑤ 人間関係 の悪化	⑥ 労働意欲 の課題	⑦ 職場以外 の要因	⑧ その他(転 居、契約 満了等)	合計
身体障害者	1	2	0	0	0	0	0	0	3
知的障害者	6	1	3	1	1	0	1	1	14
精神障害者	7	5	5	1	0	1	0	2	21
手帳なし等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計※	14	8	8	2	1	1	1	3	38

※ 38名のうち10名は再就職（うち発達障害3人を含む）

4 職場定着の状況 令和4年度（p.6）

① 各事業年度における経過月数別の職場定着率の状況（単位：%）

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
前年度就職者 12月経過時	73.1	66.7	87.7	85.2	77.4
前々年度就職者 24月経過時	—	65.7	60.3	76.5	68.5
前々々年度就職者 36月経過時	—	51.6	58.2	49.2	67.9

② 就職年度別職場定着者数・定着率の推移

	当初就職者数	12月経過時	24月経過時	36月経過時
		継続者数	継続者数	継続者数
		定着率	定着率	定着率
H28年度就職者	62人	—	—	32人
		—	—	51.6%
H29年度就職者	67人	49人	44人	39人
		73.1%	65.7%	58.2%
H30年度就職者	63人	42人	38人	31人
		66.7%	60.3%	49.2%
R1年度就職者	81人	71人	62人	55人
		87.7%	76.5%	67.9%
R2年度就職者	54人	46人	37人	
		85.2%	68.5%	
R3年度就職者	31人	24人		
		77.4%		

5 就労移行支援事業 利用者状況(杉並区障害者雇用支援センター)令和4年度(p. 13)

① 月別利用者(契約者)数 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	10	10	7	7	7	7	7	7	7	9	11	11
女	5	6	5	4	4	4	3	3	2	3	3	3
合計	15	16	12	11	11	11	10	10	9	12	14	14

② 月別入所者・就職者数 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3	2	0
就職	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0
他退所	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
月末	13	16	12	11	11	9	10	10	9	12	14	14

③ 利用者(契約者)の性別・年代別状況 (単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	2	8	1	3	1	0	15
女	1	4	1	1	1	0	8
合計	3	12	2	4	2	0	23

④ 利用者(契約者)の障害別状況 (単位:人)

身体障害	知的障害	精神障害※	その他・手帳なし	合計
0	12	11	0	23

※うち発達障害7人を含む

6 就労定着支援事業利用者状況(杉並区障害者雇用支援センター)令和4年度(p. 15)

① 月別利用者(契約者)数 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5
女	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	7	7	6	6	6	6	6	5	6	6	6	6

② 利用者(契約者)の性別・年代別状況 (単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	3	1	2	0	0	6
女	0	2	0	0	0	0	2
合計	0	5	1	2	0	0	8

7 団体会員 13団体

1	特定非営利活動法人 杉並いずみ	8	特定非営利活動法人 あおば福祉会
2	社会福祉法人 杉並希望の家	9	特定非営利活動法人 障害者就労支援センター どんまい福祉工房
3	社会福祉法人 済美会済美職業実習所	10	一般社団法人 ハミングバード tori dori
4	社会福祉法人 済美会ひまわり作業所	11	特定非営利活動法人 福祉の家 作業所にしおぎ館
5	杉並・あしたの会福祉作業所	12	一般社団法人 ワークみらい 就労継続支援 B型事業所 ワークみらい
6	社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター	13	特定非営利活動法人 TRY 福祉会 就労継続支援 B型事業所 ゆい企画
7	社会福祉法人 いたるセンター あけぼの作業所		

8 賛助会員 4件